

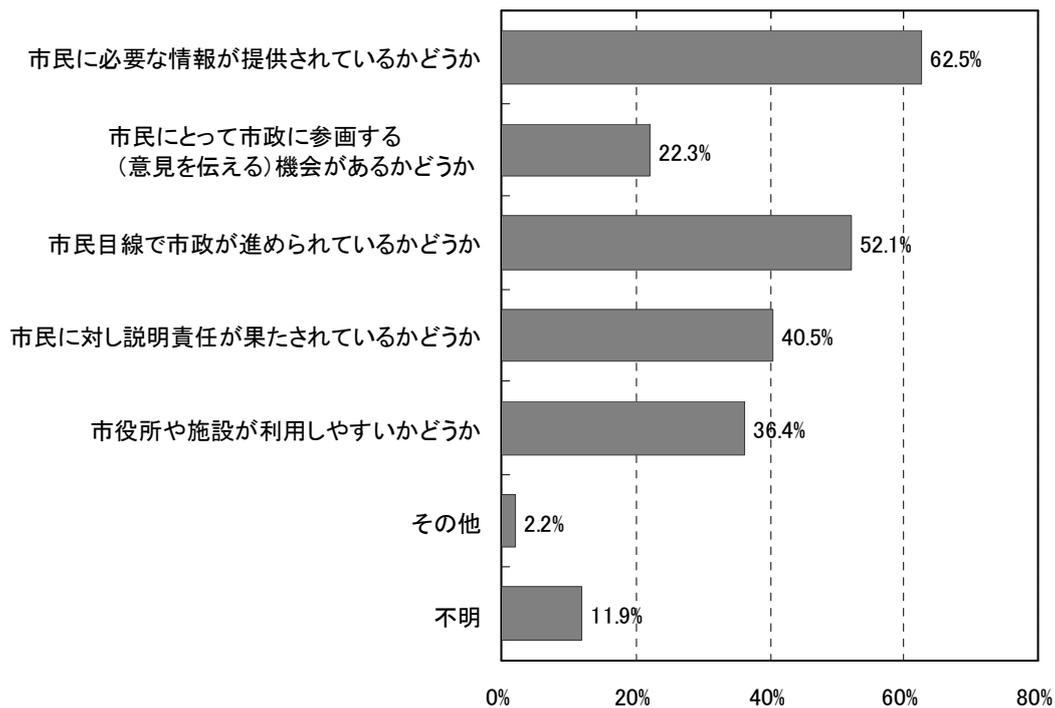
17. 市政運営について

問 72 開かれた市政運営としての条件

和歌山市では、市民に開かれた市政運営を目指し取り組んでいるところです。
あなたにとって、開かれた市政運営であるかを判断するには何を重視しますか？
該当するものをすべてお選びください。

1. 市民に必要な情報が提供されているかどうか
2. 市民にとって市政に参画する（意見を伝える）機会があるかどうか
3. 市民目線で市政が進められているかどうか
4. 市民に対し説明責任が果たされているかどうか
5. 市役所や施設が利用しやすいかどうか
6. その他（)

「市民に必要な情報が提供されているかどうか」の割合が62.5%と最も高く、次いで「市民目線で市政が進められているかどうか」（52.1%）、「市民に対し説明責任が果たされているかどうか」（40.5%）の順となっている。



その他：「人員や費用を無駄に使っていないか」など

問 73 和歌山市の市政運営

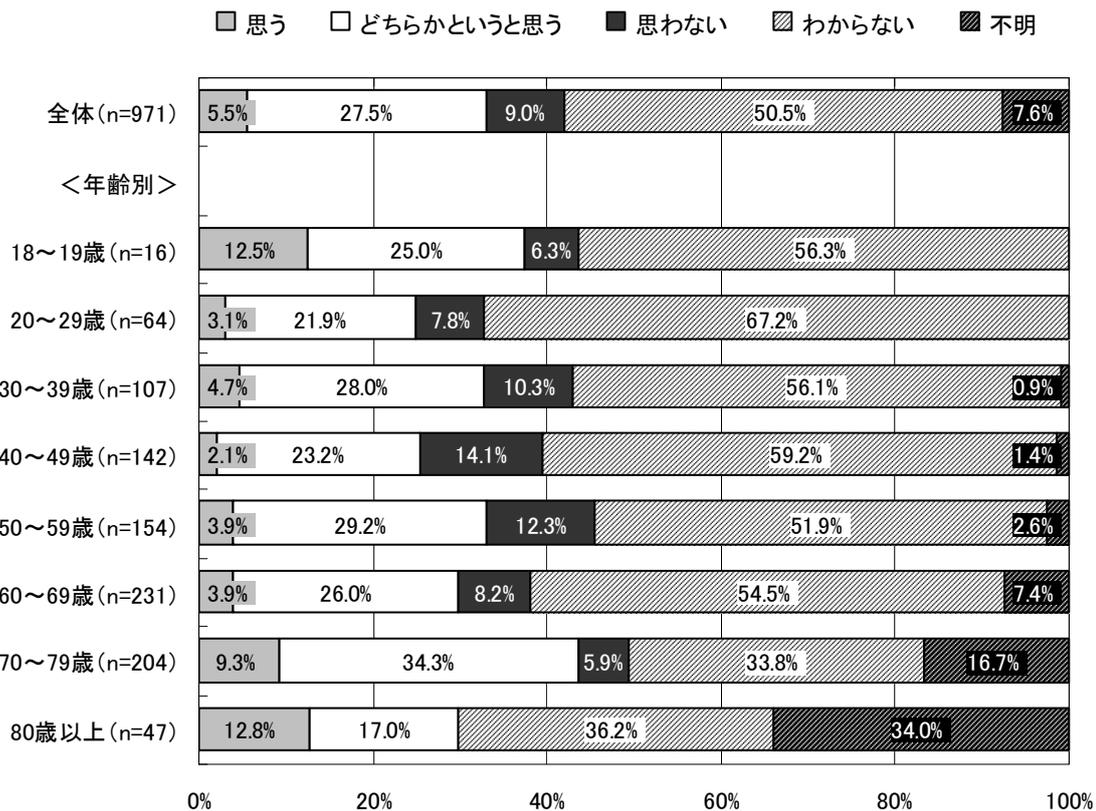
和歌山市では、市民に開かれた市政運営がされていると思いますか？

1. 思う
2. どちらかというと思う
3. 思わない（理由： _____）
4. わからない

※ 和歌山市では、市民に開かれた市政運営を行うため、主に以下のような取組みをしています。
 広報紙・ホームページ等による情報提供、「市長への手紙」等による市への提言、審議会等への公募委員の登用、パブリックコメント制度の活用、行政評価による事務事業チェックシートの公表、行政評価委員会による外部評価の公開、フロアマネージャーの配置、気くばり市役所の推進 等

「思う」(5.5%)と「どちらかというと思う」(27.5%)を合わせた33.0%は、開かれた市政運営がされていると感じている。「思わない」は9.0%、「わからない」は50.5%となっている。

年齢別にみると、開かれた市政運営がされていると感じている割合は18～19歳が37.5%、20歳代は25.0%、30歳代は32.7%、40歳代は25.3%、50歳代は33.1%、60歳代は29.9%、70歳代は43.6%、80歳以上は29.8%と、70歳代が他の年齢層よりも高くなっている。



その他：「何をしているか伝わってこない」、「普段の生活の中で簡単に知ることができない」、「市民の意見をあまり重視されていないと思う」など